

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 麻酔方法の違いが希釈式自己血輸血実施中の循環動態へ与える影響について

研究の目的

希釈式自己血輸血とは、手術室で麻酔後に患者さんの血液を採取し、体内の血液を点滴で補います。これにより体内の血液を薄めた状態にして手術を行い、手術が終わる頃に採取しておいた血液を体内に返血する方法のことを言います。術前に自己血を採取する必要がなく、術中は体内の血液を薄めるため出血量を減らすことができることから当院では積極的に取り入れています。麻酔後に急速に血液を採取するため血圧の管理に注意が必要です。そこで私たちは、異なる麻酔方法で血液採取中の血圧の変化がどれだけ違うか比較し、より安全に希釈式自己血輸血を行うための麻酔方法を選択します。

研究実施期間： 年 月 日 ～ 2025年 3月 31日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2020年1月1日～2022年8月31日までの間に、当院で希釈式自己血輸血を併用した全身麻酔下で手術を受けられた方

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者さんの年齢や性別、基礎疾患、採血結果、手術中の心拍数や血圧、手術中に使用した薬剤について、標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	麻酔科・工藤怜子 連絡先 0172-33-5111/ h 21gm103@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---